

〈シリーズ「私の森語り」〉

シリーズ

「私の森語り」
もりかた

森林・林業との関わりの中で、
様々な課題に挑戦されている方
の取組を紹介します。



「地域連携の拠点を目指して」



ふるさと体験 木曾おもちゃ美術館
ふるはた ひるし
古畑 洋志

■自己紹介

ふるさと体験 木曾おもちゃ美術館のカフェ部門でそば打ちをしています。

木曾おもちゃ美術館への改築前の「ふるさと体験館きそふくしま」には、約十年前から勤務しています。

カフェでは、できるだけ地産地消を目指し、地元で採れた玄そばを自家製粉してそば打ちし、五平餅の米も地元産、タレに使うエゴマも自分で栽培し、地元食材を使うことに力を入れています。

■活動内容

昭和三年に地元の方々からの木材提供によって建てられ、平成九年に廃校となるまでの間、地域の方々から親しまれてきた黒川小学校。

その後、なんとか校舎だけでも残したいという地元の熱意で大切に手入れされ二十年以上、大切にしてきたふるさと体験館きそふくしまに「新しい木育」という視点を取り入れた、「ふるさと体験 木曾おもちゃ美術館」として生まれ変わりました。

木曾おもちゃ美術館は「おもちゃのやかた」「たいけんのやかた」「であいのやかた」の三つのエ



町内外から集まってくれた方々に手伝っていただいた民具の移動作業



木曾おもちゃ美術館を支えてくださるおもちゃ学芸員さんと運営スタッフの出発式

リアにて構成され、メインとなるのは、旧体育館を活用した「おもちゃのやかた」です。

体育館の高さを活かして二階構造となった空間には、木曾ヒノキの柱が並び、一階には、木曾路の風景を思い起こさせる「おもちゃの小屋」が並び、積み木やパズルなど、木のおもちゃの遊びが待っています。赤ちゃん専用の部屋もあり、二階ではお店屋さんごっこも楽しめます。

■メッセージ

多世代交流ミュージアムとして新たなスタートをしていくのですが、以前から観光業でよく言われている、点と点から線と線へ、さらには面へという話があります。

観光業だけではなく、人と人の関係性も、点と点から広がっていく。その橋渡しのような施設になれればと思います。



自分が打ったそばです。「であいのやかた」にあるカフェでのお食事もお楽しみいただきたいです。

○連絡先

ふるさと体験 木曾おもちゃ美術館
〒三九七-〇〇〇二
長野県木曾郡木曾町新開六九五九
電話・〇二六四-二七-〇一一
FAX・〇二六四-二七-〇一二
<https://kiso-toyomuseum.com>

